

## 編集者の 独り言

本稿を書いております晩冬から春先の時期は、学生の皆様にとっては研究活動に加えて就職活動に忙しい時期ではないかと思えます。筆者が勤めております企業でも、学生の方々からのエントリーシートの確認や、面接の準備、実施に慌ただしい時期となります。筆者自身も多くの学生の方々とお会いし、これまでのご研究の成果やそのための創意工夫、研究活動への熱意など、いろいろとお聞きする時期となります。優秀な先生方からのご指導を受けて、素晴らしい研究者への飛翔を感じさせる学生の方々に触れる瞬間でもあり、刺激をいただくことも多くございます。

ところで就職は社会人へと自立するキャリアのステップですが、入社した企業（機関）、部署、職務によってその後のキャリアも多様に変わって参ります。では、どのように企業（機関）を選ぶのか、また企業（機関）の中で、どのように次のキャリアを探していくのか（もしくは新天地を求めていくのか）、などの「キャリアデザイン」は非常に悩ましい人生の論点と感じています。筆者は最近、キャリアデザインの視点に興味があり、片手間に各種調査をしています。ここでは学生の方に向けて、いくつかご参考になるような論考をご紹介します。

1) 自分軸が大事；人生の中で仕事をどのように定義するのか（生業、生きがい、表現の手段 etc.）。すなわち仕事を何を求めるか？を明らかにできると、次のキャリアを選びやすいと言われてます。

2) 登山型 vs トレッキング型；目標とする職位に向けて登山家のように歩みを進めるか、それとも興味にまかせてあれこれ見て回るか。前者は効率の良さがあがり、後者は人生に幅を与える良さがあると言われてます。もちろんそれぞれデメリットもあるわけですが。

3) 計画的偶発性理論（ジョン・D・クランボルツ）；キャリア形成は偶然に降ってくる機会に対処する機会がほとんど（約80%）とも言われています。その場合、事前準備ができていたのか（=対応力）、で結果が変わると言われています。

おおむねキャリアデザインは個々人の価値観や人生観とそれに基づく心構えに大きく依拠するということになります。すなわち、普段より価値観や人生観なるものを見つめておくことが重要と言えるでしょう。

非常に変化の激しい、慌ただしい昨今ではありますが、本稿が人生の大事なキャリアを立ち止まって考える契機になりますと幸いです。（栗山敬祐）

## カラー写真ご提供のお願い

化工誌編集委員会

本誌の目次や編集者の独り言下に掲載するカラー写真を広く会員の皆様からのご投稿をお願いしています。ご投稿いただいた写真は編集委員会で適宜選択して使わせていただければと考えています。ご投稿の際にはごく簡単な説明をつけていただき、電子ファイルの場合には高解像度のもの（300DPI以上）をお送り下さい。

以下のような写真のご提供をお待ちしています。

1. 季節感のあふれた風景・草花・野鳥・動物の写真など
2. 化学に関する写真—カラフルな物質、化学模型、電顕写真、実験機器、化学プラントなど

送付・問合せ：101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5  
日本化学会 学術情報部 「化学と工業」誌担当  
FAX(03)3292-6319 E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp



桜の花越しに見る岩木山（青森鶴の舞橋にて） 畠山史郎